

僕らの未来

山王中学校 大山 勇士朗

僕は最近平和について考えるようになった。なぜなら「軍事侵攻やアラブ人とユダヤ人の戦い」、そういう言葉を見たり聞いたりしたからである。戦争によって何もしない所で楽しく暮らしていた人たちが殺されたり、家を焼かれたり、家族や友達と別れることになったりしている人たちがたくさんいる。そういうとても悲しく恐ろしいでき事が今も世界のどこかでは起こっている。平和が壊されてしまったのだ。僕はそう考える。日本の報道局では戦争で亡くなった人たちのことを「～人死亡。」と言う。しかし海外の報道はK I L L E D、そう表記する。死んだのではなく殺された、この違いはとても大きな違いだと思う。この違いからも改めて戦争は殺し合いだと思い知らされた。とても悲しかった。

僕の周りにも戦争についての恐ろしさを教えてくれる人がいた。僕のおじいちゃん、その一人だった。おじいちゃんが小学校1年生だったころおじいちゃんはアメリカの戦闘機に追いかけられ必死に逃げたそう。さらに授業中にも警報がなり6年生に手を引かれ防空壕にかくれる。防空壕の中では怖さのあまり泣いてしまったり、おもらしをしていた子もいたそう。子供たちでさえ命の保障もない戦争。僕の近所に住んでいる人も飛行機が来て撃たれそうになったため近くの畑に逃げこんだ。食べ物もない中でザリガニをつくだににして食べるなど、生活の中へ深く戦争という脅威がくぐりこむことを僕は知った。こわかった。とても悲しかった。だからこんなに悲惨なものは絶対に繰り返してはいけないと思う。戦争は平和をはかいするものであり、体を傷つけ、心を傷つける。一生消えることのない傷のつけ合い、僕はそう思う。

僕の大好きなものは、科学だ。科学は人類を発展させ人を助けてきた。今も僕たちがくらせているのは科学があるからだ。けがをしたら治療する。旅行に行きたいなら乗り物を使う。それらすべては科学の結晶。何千年もつみ上げてきた物だから。だから僕は昔の人が苦勞してつくったものつまり科学というものが好きだ。しかし、悲し

いことに科学は人を苦しめる。相対性理論をとなえたアインシュタインは科学の大きな一歩となった。しかし原爆のきっかけとなった理論にもなってしまった。ライト兄弟の空を飛ぶたい夢が夢をはかいするものにもなった。だから僕はそんなことにならないようにしたい。どうしたらいいかは、まだ分からない。

だからこれから僕はつねにみんなの幸せを考え実現へ向かわせる方法を考え続ける。戦争というのは平和をはかいし、人を殺し、心を傷つける、子供から大人まですべての人の夢をうばい、成功を憎まれるものにする。そんなおかしい世の中を変え、未来を変える。すべての人に人権がある、そのことを第一に考え僕はこれから生きていきたい。戦争という、無残で悲しいものを生み出さないよう、人々が平和にくらせる世界をつくっていきたい。